厚生労働省
障害者芸術文化活動
普及支援事業

シンポジウム

「滞在制作を通して障害者の芸術文化活動を考える」

［日時］

2026年11月28日（土）12時30分～15時00分

※手話通訳あり

［会場］

東洋電化中央公園内テント
（高知県高知市帯屋町１丁目11-27）

［登壇者（順不同）］

西木 正　（徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター）
松岡 陽子　（徳島県社会福祉事業団）
中曽 雄斗　（参加アーティスト）
利藤 大貴　（参加アーティスト）
宮口 英樹　（高知健康科学大学）
松本 志帆子（藁工ミュージアム 分室）
鈴木 一郎太（アーツカウンシルしずおか）
岡村 忠弘、平谷 尚大、土谷 享
（モデレーター／中国・四国 Artbrut Support Center passerelle）
大澤 寅雄　（進行／連携事務局）

［お申込み］（〆切：11月25日（水））

以下のURLまたはQRコードにアクセスしてお申込みください。
https://forms.gle/si8Z4HjuAff2v5ub8

芸術家が一定期間、特定の場所に滞在し、創作活動を行う取り組みは「アーティスト・イン・レジデンス」（略称：ＡＩＲ）と呼ばれ、日本だけでなく、さまざまな国で行われています。ふだんとは違う環境に身を置くことで、新たなインスピレーションを得たり、地域の人々と交流したりする機会が生まれています。

今回のシンポジウムでは、障害者芸術文化活動普及支援事業の広域ブロックである、中国・四国ブロック内で行われている、障害のあるアーティストが県域を越えて交流する取組の事例紹介を行います。いつもと違う環境に身を置くこと、滞在すること、創作することの意義を考えていきます。



［主催・お問い合わせ］

障害者芸術文化活動普及支援事業 連携事務局

神奈川県横浜市西区北幸1-11-15　横浜ＳＴビル地下1階（アートＮＰＯリンク内）
電話番号　045-325-0414　メールアドレス　welfare@arts-npo.jp

［協力］

中国・四国 Artbrut Support Center passerelle

※本シンポジウムは、厚生労働省補助事業「令和８年度障害者芸術文化活動普及支援事業」、全国連絡会議の一環として行われます。

応援事業

よさこい高知
文化祭2026